

2015年度 第3回先端研セミナー

食とグローバル化の社会学

——ポスト“マクドナルド化”時代のフードスケープ

報告者：鈴木 謙介氏

(関西学院大学社会学部准教授)

2015年7月18日(土) 17:15～19:00

関西学院大学 大阪梅田キャンパス 1407教室

※一般公開・入場無料

※参加ご希望の方は、先端研事務局 (asr@kwansei.ac.jp) まで、氏名、所属先、メールアドレスを明記の上、Eメールでお申込み下さい。定員になり次第締め切らせていただきます。

概要

現代の「食」を巡っては、農学はむろんのこと、流通の近代化を背景に、経済学・政治学・心理学・経営学など多岐にわたる分野で研究が進められている。だが特に近年では「食とグローバル化」の関係をめぐる研究が盛んになりつつある。社会学においても農村社会学や環境社会学など、生産者・産地を主たる軸として研究蓄積が存在するものの、グローバル化した世界における食の問題を扱ったものとしては、リッツアの「マクドナルド化」以来、包括的な枠組みに当たるものが提起されてはいない。マクドナルド化そのものについての議論もあるが、そもそも21世紀以降、グローバルな「食」を巡る問題はより複雑化しており、新たなパースペクティブが求められていることは明らかである。今回は、「食とグローバル化」についての研究動向を概括し、ディスカッションとともに議論を深めていく。

報告者紹介

1976年福岡県生まれ。専攻は理論社会学、情報社会論、グローバル化論。2002年の『暴走するインターネット』以来、ネット、ケータイなど、情報化社会の最新の事例研究と、政治哲学を中心とした理論的研究を架橋させながら、独自の社会理論を展開している。2005年の『カーニヴァル化する社会』以降は、不安定を強いられる若者たちの感覚をベースにした議論も増えている。主な著書に『〈反転〉するグローバリゼーション』『サブカル・ニッポンの新自由主義』『ウェブ社会のゆくえ』など。

ディスカッション

山田 真裕氏 (関西学院大学法学部教授)
高原 基彰氏 (関西学院大学社会学部准教授)
柴田 悠氏 (立命館大学産業社会学部准教授)
富永 京子氏 (立命館大学産業社会学部准教授)

主催：関西学院大学先端社会研究所

(お問い合わせ先：先端社会研究所事務局 Email:asr@kwansei.ac.jp/Tel:0798-54-6085)